

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 310

| | | | | | |
|------|-----------|-----|-----------------------|------|-------|
| 所管部局 | 福祉部 | 所管課 | 健康課 | 担当者名 | 松村 雅枝 |
| 事業名 | 健康づくり推進事業 | | | 事業分類 | ソフト事業 |
| 細事業名 | 健康づくり推進事業 | | | 政策体系 | 141 |
| 会計 | 一般会計 | 科目 | 4. 衛生 - 1. 保健 - 1. 保健 | | |

1. 事業の概要

健康づくり推進協議会で健康課題を明確にし、健康づくりの指針と方策を検討した。
食生活改善推進協議会等の地区組織活動の支援と育成を行った。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

市民の健康づくりの支援を、住民組織を通じて実施した。

② 事業を実施する必要性

心臓病・がん・脳卒中が市の主な死亡原因であり、それぞれの疾患が医療費の増加・要介護原因疾患・個人のQOLの低下の大きな要因となっている。
市民の健康意識を向上させ、主体的に健康づくりを展開し、南丹市の健康環境を引き上げるために必要な事業である。

3. 事業費の推移

| | 単位 | 平18決算 | 平19決算 | 平20決算 | 平21決算 | 平22予算 | 平23計画 | 平24計画 |
|-------------------------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 決算額または計画額 | 千円 | 873 | 747 | 738 | 822 | 842 | 842 | 842 |
| うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 財源内訳 | 使用料・手数料等 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 232 | 200 | 200 |
| | 国・府支出金 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 873 | 747 | 738 | 590 | 642 | 642 |
| 職員等の従事人員 | 人/年 | — | — | 0.44 | 0.62 | | | |
| 人件費 | 千円 | — | — | 2,803 | 4,214 | | | |
| 事業費総額 | 千円 | — | — | 3,541 | 5,036 | | | |

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

| | |
|-------------------|-----------------------|
| 健康づくり推進協議会の開催 | 55,860円（報酬、消耗品） |
| 献血実施者への記念品費 | 261,620円（消耗品） |
| 食生活改善推進員の養成 | 87,396円（講師料、消耗品、賄材料費） |
| 食生活改善推進員伝達講習会への助成 | 137,450円（通信運搬費、補助金） |
| じん肺患者同盟補助金 | 280,000円（補助金） |

5. 事業結果の概要

| | |
|------------------|--------|
| 食生活改善推進員養成講座終了者 | 32人 |
| 食生活改善推進員による伝達講習会 | 27回 |
| 献血実施者 | 1,035人 |

6. 活動の詳細

| 活 動 内 容 | 活動日又は時期 | 活 動 結 果 等 |
|--|----------------------|--|
| (1) 健康づくり推進協議会 | | |
| 市役所において、健康づくり推進委員（各地区組織等代表者15人）による健康づくり推進協議会を開催し、①市の20年度健康づくり事業の報告②市の21年度健康づくり事業について協議③各組織での健康づくり活動状況報告を行った。 | 9月4日（金） | 南丹市内の新型インフルエンザ発生状況や感染防止対策について協議できた。保健師が地域に出向いた活動ができるように要望があった。 |
| (2) 献血事業 | | |
| 赤十字血液センターが、公民館・保健センター等21会場で18日間の献血を実施した。 | 4月～3月 | 年間献血者数 受付人数 1,233人 実施者数1,035人 (200ml : 12人 400ml : 1,023人) |
| (3) 食生活改善推進員 | | |
| ①南丹市食生活改善推進員協議会が健康づくり目的に食生活改善の為に伝達講習会を市内4支部において実施。又行政からの依頼事業を実施した。これらの活動に市が助成を行った。②食生活改善推進員の養成講座を実施。 | ①4月～3月 ②8月～2月 10回 | 会員数148人 行政依頼事業 24件 伝達講習会 27件 養成会員 32人 |
| (4) じん肺患者同盟 | | |
| 全国じん肺患者同盟京都府南丹支部に対して、活動補助金を交付した。 | 3月 | 補助金 280,000円 |

7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

食育の充実が重要視される中、食生活改善推進員の養成講座を開催し、32名の養成ができ、食生活改善推進員協議会の組織強化が図られた。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
栄養士による食生活改善推進協議会への活動支援のため、地域に出向いた活動展開を協議した。
- ②当該事業のアピール事項
各地区組織での健康づくりを積極的に推進していただけるよう支援する事業である。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
地区組織や個人が主体的に健康づくりに取り組むためには、健康環境の向上が必要である。そのためにも公的施設の敷地内禁煙に早急に取り組むべきである。
じん肺患者同盟補助金については、活動支援も含め引き続き検討していく。